

「第14期ちえのわ農学校」報告 報告と新年度の募集内容です。

2018年度代表 櫻井優介(東京学芸大学3年生)

皆様、こんにちは。私たちは「東京学芸大学 サークルちえのわ」です。私たちは大学構内の教材植物園(農園)で、地域の子どもたちと食農文化体験活動をしています。また、自然文化誌研究会が開催しているキャンプにもスタッフとして参加しています。今回はこの場をお借りして私たちの活動「ちえのわ農学校」の紹介と、新年度4月から始まる「第15期ちえのわ農学校」の募集をしていきたいと思ひます。

【ちえのわ農学校とは】

「サークルちえのわ」は大学のサークルであり、スタッフのほとんどが大学生です。私たちは教育と、自然体験や農体験に興味を持って集まり、ちえのわ農学校を地域の子どもたちに向けて開催しています。

ちえのわ農学校では、3つの“わ”を理念として、4月から翌年1月まで毎月1回(全10回)の活動を行っています。

*自然のわ：自然の様々な表情と向き合いながら、「種から胃袋まで」の道のりを実践することを五感で感じるきっかけづくりをする。

*人のわ：農学校だからこそできる体験を通じて子どもたちが仲間とのつながりを感じられるきっかけづくりをする。

*知恵のわ：昔ながらの知恵や文化にふれ、身近なものを見つめなおすきっかけづくりをする。

活動の主軸となっているのは畑と田んぼでの活動です。畑では一年を通じて野菜の栽培をしています。毎年最初の活動で子どもたちは畑に種を植えます。それから収穫の夏まで毎月畑のお世話をし、今年(第14期)の活動では収穫した野菜を使って皆でカレー作りをしました。夏はトマトやナス、トウモロコシやスイカなどを育て、冬には大根や白菜、ブロッコリーなどを育てました。

田んぼではお米作りをしています。5月に泥だらけになりながら田植えをして、毎月稲の成長を記録し、お世話をしていきます。10月には自分の身長と同じくらいまで育った稲を刈って、干して、脱穀・精米をして、調理して食べます。今年は、うるち米ともち米をそれぞれ育てたので、一方は皆でおにぎりに、もう一方は1月にお餅つきをして食べました。

この二つの活動に加えて、毎月その季節に合った企画を用意して活動しています。今年は例えば、タケノコ掘りや草木染め、夏には流し素麺や竹工作をしました。8月には農園で1泊だけのキャンプもしました。秋冬には焼き芋をしたり藁工作を試みたりと、様々な活動をしました。

【第14期の活動を振り返って】

さてここまで、ちえのわ農学校について紹介しました。ここからはせつかくの場なので、私個人の視点から、感想などを含めて今年の活動のお話をしたいと思います。私は14期サークルちえのわの代表を務めていました。私が代表を務め初めて最初の活動日は、大変に緊張していたことを覚えています。もちろん子どもたちにとっても初めての農学校なので、私以上に緊張と不安の中にいたと思います。午前中のメインの活動はタケノコ掘りでした。しかし活動の最中、気づくと「あった！これタケノコだよね！？」だったり、最初はおもいおもいしていた子がスタッフに「あの、大きいスコップありませんか？」と子どもたちが夢中になってタケノコを掘っていました。その姿からは彼らの知的好奇心や農学校を楽

しもうとしている姿勢を感じました。それを見て私は、少し気が楽になったのと、これからの農学校をより良いものにしていきたいなと思うことができました。



4月：タケノコ掘りと畑の様子



5月：田植えの様子

それから月を追うごとに様々な活動を通してちえのわ農学校としてのまとまりができていき、8月のお泊り農学校のころには子どもたちは仲のいい人同士で集まって一緒に寝たりもしていました。親元を離れてのお泊りは初めての子もいたのに、とても楽しく一晩を過ごせたことは、彼らにとって農学校が一つの居場所になれたのかなと、夜番をしながら思いました。他にも8月は自然文化誌研究会主催のキャンプに農学校の子も参加してくれて、忙しくも楽しい毎日でした。

毎月たくさんの企画を他のスタッフたちと考えて準備していくのは大変でしたが、一年を通してとても良い体験活動をできたと思います。興味を持っていただけたら、是非、ちえのわ農学校のホームページ (<https://www.gakugei-chienowa.org/>) に活動の記録などをまとめておりますので、ご覧ください。ここまでお付き合いいただき、ありがとうございました。



7月：流し素麺



8月：ヤマメを捌いておやつに



9月：ご飯炊き



10月：稲刈り

【第15期 ちえのわ農学校について（募集要項）】

□活動要旨

正式名称：ちえのわ農学校

対 象：小学校3年生～中学校3年生までの男女18名（応募者数が定員に達した場合は抽選を行います）

スタッフ：東京学芸大学学生を中心に30名程度

場 所：東京学芸大学 環境教育研究センターおよび教材植物園(彩色園)

費 用：実費負担年額15,000円（食費、保険、材料費等）

主 催：東京学芸大学サークルちえのわ URL: <http://www.gakugei-chienowa.org/>

共 催：NPO 法人自然文化誌研究会 URL: <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

後 援：小金井市教育委員会

□2019年度 年間予定

月1回の土曜日（全10回） 10:00～17:00（4～7月）、10:00～16:00（9～1月）

（日程・内容ともに変更する可能性があります。）

日 程	4/20	5/18	6/15	7/13	8/17-18 (宿泊)	9/14	10/19	11/23	12/14	1/11
活 動 内 容	開校式、 農園散策、夏 野菜の 種まき	田植え	かかし 作り	竹工作	夏野菜料理、 ヤマメさばき	冬野菜 種まき	稲刈り	脱穀、 粳すり、 精米	稲わら 工作	もちつき、修 了式
	夏野菜の栽培					冬野菜の栽培				
	田植えから脱穀・精米までの稲作体験 野菜の栽培・調理、自然を対象にした企画など									

※活動内容で未定な部分もありますが、子どもたちのやりたいことを聞きながら決めていきたいと考えています。また自由時間や季節ごとの農園散策、おやつ作りなどを通して、子どもたちひとりひとりがふと感じた興味を大切に活動していきたいです。

○参加の流れと申込方法

まずはお早めにメールで資料をお取り寄せください！！

①お問い合わせ→資料をお手元に

ちえのわ農学校のメールアドレス(gakugei_chienowa@yahoo.co.jp)にメールを送信してください。

参加希望の旨、お子様のお名前と学年、保護者住所・お名前を書いてください。

②郵便を受け取る

ちえのわ側がメールを受け取ると1週間以内にちえのわの紹介や申込書などの書類を郵送します。1週間以内に届かなかった場合、ご連絡ください。

③お申込み

2019年3月29日(金)必着で申込書を、郵送またはメールで必要事項を記入の上で送ってください。

④抽選

3月31日に応募者多数の場合、抽選を行います。当選・落選の結果はお電話でご連絡させていただきます。

Tel : 080-9985-0159 (橋本)

E-mail: gakugei_chienowa@yahoo.co.jp

代表：東京学芸大学教育学部3年 橋本和幸（はしもとかずゆき）

参加希望の方、まずはお問い合わせください～！！